

シロテテナガザル 27年ぶり赤ちゃん



母親の胸にしがみつくとシロテテナガザルの赤ちゃん
(王子動物園提供)

王子動物園で公開中

神戸市立王子動物園 (灘区)で、シロテテナガザルの赤ちゃんが誕生した。同園では1986年以來、27年ぶりという。親に甘える愛らしい姿が同園で見られる。

父親のシモン(8歳)と母親クリクリ(14歳)の間に生まれたのを、今月1日午前に飼育員が確認した。赤ちゃんは現在、体長約20センチ、体重約400グラム。性別は不明。母子ともに健康という。

シロテテナガザルは東南アジアなどに分布し、名前の通り手首と足首の先が白く、手が長い。赤ちゃんはまだ全身が白っぽく、母親の胸にしがみついて行動している。親子は、園内の運動場で公開している。同園は「時折、母親が赤ちゃんに授乳するなど子育ての様子も見ることができると呼び掛けている。同園 ☎078・861・56

24
(横田良平)

神戸新聞NIEワークシート
小学校
国語、道徳、生活、朝NIE

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①シロテテナガザルは、どうして「こう」いう名前になったのでしょうか。きじのなかからさがして書きましよう。

②赤ちゃんの大きさとおもさは？ 赤ちゃんはどんなようすですか？

③このきじをよんで、あなたはどんなことを思いましたか。

◎おうちの人にきいてみよう！

あなたが生まれたとき、どんなようすだったか、おうちの人はどんなきもちだったか、きいてみましよう。
うまれたときのしんちようど、たいじゆうもきいてみましよう。